

癌化学療法輸液約束処方 非ホジキンリンパ腫

癌種 中枢神経の悪性リンパ腫
 レジメン名 NHL8 HD-MTX±R

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間	1クール期間
メトレキセート	メトレキサート	MTX	3000 mg/m ²	div	DAY 1	3時間	21日間
レボホリナート	レボホリナートCa	l-LV	7.5 mg/body	iv	DAY 2-5	10時、16時、22時、4時(6時間毎)	
± リツキサン	リツキシマブ	R	375mg/m ²	div	DAY 6	下記参照	

メイン【DAY 1】

- 9:30~① 5%Tz 50ml + ダイアモックス250mg / 15分
 イメンドカプセル125mg内服(オプション)
 ② 5%Tz 50ml + アロキシ 1A + デカドロン 16mg / 15分
 10:00~③ NS 400ml + メトレキセート mg / 3時間
 13:00~④ソルデム3A 500ml + 7%メイロン 20ml / 3時間
 16:00~⑤ソルデム3A 500ml + 7%メイロン 20ml / 3時間
 19:00~⑥ソルデム3A 500ml + 7%メイロン 20ml / 3時間
 22:00~⑦ソルデム3A 500ml + 7%メイロン 20ml / 3時間

メイン【DAY 6】NHL1参照(hydrationはオプションで)

- 10:00~① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg / 15分
 ② NS 500ml + リツキサン mg / 100ml/hrから開始
 ③ NS 50ml / フラッシュ全開
 ④ソルデム3A 500ml / 2時間(オプション)

〈 リツキサン投与方法 〉

- ① 投与速度は 初回は50ml/hr から開始し、30分毎に 50ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ② 2回目以降は 100ml/hr から開始し、30分毎に 100ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ③ infusion reaction に注意(投与速度とIR発現は相関する)。投与再開する場合は 投与速度を半分に以下に下げる。

〈 備考 〉

- ・MTX投与開始後24時、48時、72時に血中濃度測定。10⁻⁵、10⁻⁶、10⁻⁷モルを超えたらレボホリナートレスキュー追加する。
- ・オプションでイメンドカプセル併用
- ・レボホリナートはMTX投与24時間後から投与開始する。(DAY2の10時~DAY5の22時まで)
- ・尿のpHチェック。pH7以下の場合、ダイアモックス250mg 投与(注射or内服)。尿量3000ml/日以上となるようHydoration。
- ・リツキサンの投与日は変更可。

メイン【DAY 2、3、4】

- 9:30~ ① 5%Tz 50ml + ダイアモックス250mg / 15分
 イメンドカプセル80mg内服(オプション)
 ② 5%Tz 50ml + デカドロン 8mg / 15分
 10:00 〈側管〉レボホリナート7.5mg /iv
 10:00~ ③ソルデム3A 500ml + 7%メイロン 20ml / 3時間 ☆採血
 13:00~ ④ソルデム3A 500ml + 7%メイロン 20ml / 3時間
 16:00 〈側管〉レボホリナート7.5mg /iv
 16:00~ ⑤ソルデム3A 500ml + 7%メイロン 20ml / 3時間
 22:00 レボホリナート7.5mg /iv
 翌日4:00 レボホリナート7.5mg /iv

メイン【DAY 5】

- 9:30~ ① 5%Tz 50ml + ダイアモックス250mg / 15分
 ② 5%Tz 50ml + デカドロン 8mg / 15分
 10:00 〈側管〉レボホリナート7.5mg /iv
 10:00~ ③ソルデム3A 500ml + 7%メイロン 20ml / 3時間
 13:00~ ④ソルデム3A 500ml + 7%メイロン 20ml / 3時間
 16:00 〈側管〉レボホリナート7.5mg /iv
 22:00 レボホリナート7.5mg /iv
 翌日4:00 レボホリナート7.5mg /iv

H27.8.7作成
 R5.4.26改訂
 R5.10.4改訂